

# 平成31年度 学校自己評価システムシート ( 県立深谷高等学校 )

目指す学校像	学力の向上、部活動の振興に重点を置き、地域から信頼される進学校を目指す。 文武両道の精神に基づく心豊かな生徒を育成する。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 確かな学力の定着を目指し、学習指導の工夫と主体的学習態度の育成を図る。</li> <li>2 生徒一人一人の進路実現を叶える支援の充実を図る。</li> <li>3 基本的生活習慣の確立を図り、部活動、学校行事の活性化を支援し、豊かな心を育む。</li> <li>4 保護者・地域との連携を強化し、開かれた学校づくりを推進する。</li> </ol>
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	3名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	5名

学校自己評価							学校関係者評価	
年度目標					年度評価(2月1日現在)		実施日 令和2年2月12日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	<p><b>【現状】</b> 入学してくる生徒の学力や学習意欲に幅があり、且つ学力が低下傾向にある。</p> <p><b>【課題】</b> 個に応じた学習指導と資格取得等により、学習意欲と基礎学力を向上させ、自己肯定感を高める必要がある。</p>	<p>・授業改善に努め生徒の学習の意欲を喚起するとともに、基礎学力の定着・向上を図り、学ぶ姿勢を身に付けさせる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①習熟度別授業、少人数授業等の活用の仕方を工夫して、一層の基礎学力の定着を図る。</li> <li>②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、協調学習等の手法を用いた「学びの改革」を推進する。</li> <li>③教員相互による授業見学等を行い、「わかる授業」を目指した授業の工夫・改善による学力向上を図る</li> <li>④保護者との連携の仕方を工夫し、宿題や予習による「家庭学習」時間の向上を図る。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①基礎学力診断テストの結果が向上したか。</li> <li>・成績優良者数が増加、成績不振者数が減少したか。</li> <li>②「分かりやすい授業」のポイントが上がったか。</li> <li>③公開授業を実施できたか。教員間で複数回の授業を見学できたか。</li> <li>④家庭学習時間が向上したか。</li> </ol>	<p>基礎学力の定着・向上を目指し、授業改善・保護者や大学との連携を実施し、主体的に学ぶ姿勢が徐々に現れてきた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①成績(1・2学期の合計) 優良者数：昨年度より12%増加した 不振者数：昨年度より20%増加した</li> <li>②「わかりやすい授業」アンケート結果 H29:80%→H30:78%→R1:74%</li> <li>③公開授業週間を実施、初任者教員の研究授業を中心に教員間の授業見学を実施</li> <li>④「家庭学習時間が向上したか」 昨年度結果より、16%増加した。</li> </ol>	B	<p>基礎学力の定着と併せて高い学力の向上を図る取組を行うことが課題である。授業改善に向けた情報収集、情報提供、研修への参加・実施が必要である。</p>	<p>・生徒の多様化や二極化が見られる中、いろいろな工夫をして学力の向上に取り組んでいる様子がわかる。</p> <p>・学力向上に向け、家庭学習の時間が上昇してきており、今後、結果が伴ってくることを期待したい。</p> <p>・「わかりやすい」授業のポイントが年々下がっており、多様な学力の生徒への対応が必要になっている。引き続き教員相互の授業見学等を積極的に実施し、授業の工夫・改善に取り組んでほしい。</p>
2	<p><b>【現状】</b> 多くの進学者が指定校推薦及びAO入試等での進学である。</p> <p><b>【課題】</b> 早い段階から具体的な将来の進路目標を持たせるための仕掛けが必要である。上級学校進学後も学業についていける力をつける必要がある。</p>	<p>・特進クラスの活性化</p> <p>・学校と家庭との連携を密にした組織的な進路指導により、生徒全員の進路実現を目指す。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①特進クラスの生徒は、4年制大学・短期大学及び医療系学校等への進学希望者に限定したクラス編成。</li> <li>②一般入試で大学等に合格できる力を付けさせる。</li> <li>③平日補習・土曜補習および長期休業中の補習の充実を図る。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①4年制大学等の進路希望者に限定したクラス編成ができたか。</li> <li>②生徒・保護者の学校の進路指導の取組の満足度が向上したか。</li> <li>③補習への参加率・満足度が増加したか。</li> </ol>	<p>特進クラスの活性化に向けたクラス編成・補習が実施できた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①1・2年生は、4年制大学等の進路希望者に限定したクラス編成を行った。</li> <li>②進路指導の満足度 生徒 H29:76%→H30:75%→R1:83% 保護者 H29:76%→H30:79%→R1:86%</li> <li>③参加率 H30:81.5%→R1:80.1% 満足度 H29:76%→H30:78%→R1:78%</li> </ol> <p>学校を通しての就職や大学・専門学校等への進学もほぼ希望通りに決定した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①二者面談週間を設定した。</li> <li>②きめ細かい進路指導である 生徒 H29:75%→H30:75%→R1:77% 保護者 H29:78%→H30:79%→R1:76%</li> <li>③1・2年生でClassiを活用して課題等を配信</li> <li>④学校斡旋就職希望者内定率 H30:94%→R1:97%(2/1現在)</li> </ol>	B	<p>特進クラスの生徒のモチベーションの向上と新大学入試に向けた進路指導體制の強化が課題である。</p> <p>早い段階から生徒が主体的に進路実現に向けた取り組みができるような方策が必要である。</p>	<p>・アンケート結果などから特進クラスへの満足度は高いようであるが、一般入試対策の補習等を望む声もあるので対応策を検討してほしい。</p> <p>・深谷高校の先生は進路相談について非常に丁寧になんて対応してくれる。また、相談しやすい環境も作ってくれていて良い。</p> <p>・今年度導入したClassiについては、様々な活用をしているようなので来年度、再来年度の成果が楽しみである。</p> <p>・昨年度の要望を受けて実施した二者面談は年度初期の生徒の意識づけにも役立っているようであるので継続してほしい。</p> <p>・進路意識の向上のため、保護者の上級学校訪問への参加率を上げて欲しい。</p>
3	<p><b>【現状】</b> 基本的生活習慣の大きな乱れはないが、整容指導、時間厳守(遅刻者)や挨拶等まだ不十分である</p> <p><b>【課題】</b> 整容、挨拶の励行、時間厳守等の基本的生活習慣を確立し、社会生活に関するルールやマナーを、家庭と連携し継続的に指導する必要がある。</p>	<p>・基本的生活習慣の確立と学校行事や部活動の体験を通して、豊かな心を育成する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①年度当初から正門指導と各学年、授業、ホームルーム等での全教員が一体となって組織的な整容、遅刻指導の徹底を図る。</li> <li>②家庭との連絡を密にしなが、時間厳守の大切さを教え、遅刻数を減少させる。</li> <li>③魅力ある部活動を推進し、加入率や実績の向上を図る(特に女子生徒の参加する部活動活性化を図る)とともに部活動等で地域住民との交流事業を実施し、豊かな心を育む。</li> <li>④清掃・整理整頓の徹底。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「頭髪や身だしなみ、時間も守って行動した」ポイントの向上。</li> <li>②遅刻者数が減少したか。</li> <li>③部活動加入率が向上したか。部活動実績が向上したか。地域との交流事業の実施した回数や参加者の高い満足度がえられたか。</li> <li>④「清掃をよくやり、学校がきれいにしている」ポイントが向上したか。</li> </ol>	<p>年度当初の目標である基本的生活習慣の確立では教職員の粘り強い指導により徐々に向上している</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①生徒アンケート H29:88%→H30:90%→R1:83%</li> <li>②遅刻者数は、昨年同期に比べ21%減少</li> <li>③部活動加入率 H29:63.4%→H30:63.8%→R1:68.5%</li> </ol> <p>部活動実績 関東大会や全国大会等の上位大会への出場はならなかったが、多くの部活動が県大会で活躍している。</p> <p>高校生と小学生のスポーツ交流事業 H29:4部6回→H30:4部6回→R1:5部7回</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>④生徒アンケート H29:79%→H30:80%→R1:79%</li> </ol>	A	<p>昨年度から基本的生活習慣の定着に向けた強化を行っているが、まだ至っていない。全教員が共通認識のもと、家庭との連携も強化しつつ、粘り強い指導を続けていくことが必要である。</p>	<p>・様々な項目を設定しアンケートを実施しているが、結果が8割を超えているものは評価できる。</p> <p>・個別対応による生徒の意識づけや学年での遅刻指導の結果、遅刻が大幅に減ったことは評価できる。今後さらに、減らして欲しい。</p> <p>・部活動については、今年度は上位大会への進出ができなかったのは残念であるが県大会への出場数等成果は出ている。さらに各部活動で魅力ある部活動を目指し頑張してほしい。</p>
4	<p><b>【現状】</b> 保護者、中学校、地域等へ学校の広報を実施しているが、まだ不足しているさらに学校理解度を高める必要がある。</p> <p><b>【課題】</b> 学校を積極的に公開、発信し本校の魅力をアピールし、生徒募集に結びつける必要がある。</p>	<p>・本校の教育活動の情報発信を充実させる。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①一番の地域の声である学校評議員会、学校評価懇話会の意見を学校経営に反映する。</li> <li>②学校ホームページ、「ふかこう通信」等を工夫し、中学校や地域住民等への情報発信を強化する。</li> <li>③学校説明会等での学校PRや説明の方法を工夫するとともに、学習塾等を対象とした説明会等を実施し、本校志願者の増加を目指す。</li> <li>④一昨年から始めた保護者への「一斉配信メール」を利用し、学校行事への参加者数を増やす。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①意見を学校経営に繁栄できたか。</li> <li>②学校公開来場者数、ホームページへのアクセス数、生徒・保護者の満足度が向上したか。</li> <li>③学校説明会来場者数の向上、本校志望生徒倍率1.10以上。</li> <li>④学校行事への参加者数が増加したか。</li> </ol>	<p>学校HPや一斉メール配信、保護者等への学校行事への参加について積極的に働きかけを行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①深谷市の小学生向けボランティアに本校生が参加</li> <li>②母校訪問で生徒が出身中学校でPRを実施</li> <li>③HPのアクセス数が増加した。昨年度24,000件/月から、43,000件/月へ増加した</li> <li>③「学校のことを地域に知らせている」保護者アンケート H29:81%→H30:88%→R1:80%</li> </ol> <p>学校説明会来場者数 H29:829人→H30:967人→R1:850人</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>④1・2年生の保護者はほぼ全員が「一斉配信メール」登録済み、参加者数は例年並みである</li> </ol>	A	<p>少しずつ開かれた学校づくりへの取り組みの成果が出てきている。今後は、現在の取り組みの充実を図りつつ、新たな方策を検討・実行する必要がある。</p>	<p>・保護者への周知について、生徒へのプリントの配布と同時に一斉メールなどを併用した方がよい。</p> <p>・今年度、新たな試みとして夏休みに「深谷市の小学生へ教える高校生ボランティア」事業に参加したことは地域に本校をPRできた。このような取り組みは今後も積極的に続けて欲しい。</p> <p>・市内の各自治体に依頼している本校の広報誌の配布について、配布依頼を徹底した方がよい。</p>

